

広報広聴特別委員会行政視察報告書

期 日	令和5年11月14日（火）
視察先	滋賀県 大津市
出席者	松本 樹影 委員長、山崎 由枝 副委員長、 小嶋 正博 委員、堀江 克己 委員、望月 真実 委員、高橋 伸也 委員、 田口 孝男 委員、寺岡 まゆみ 委員、石井 芳隆 委員
随行者	清水副主幹
調査項目	広報広聴に係る取組について
調査内容	<p>大津市議会広報広聴ビジョン、同アクションプランについて 政策立案と議会改革の推進を目指す「ミッションロードマップ2019」に「広報の在り方検証」が位置づけられたことを受け、市民アンケート、議員研修を実施。①市議会への関心惹起②効果的な広報媒体の活用③市民参画につながる広聴機会の充実の3点を課題として捉え、広報広聴活動全般の方向性を示す「広報広聴ビジョン」を令和4年3月に策定した。さらに、具体的な取組として「アクションプラン」を策定し、各取組を年次的に整理するとともに、成果指標に基づく評価検証を実施している。</p> <p>アクションプランに基づく取組について</p> <p>○市議会だよりリニューアル 読みやすさを重視した既存コンテンツ見直し、市民が参加する新規コンテンツ創設、動画広報とのクロスメディアをポイントに令和4年に実施。</p> <p>○パンフレット作成 若者向けと一般向けの2種類を新たに作成し、議会の基本知識を紹介。</p> <p>○広報動画制作 議会の基本知識をクイズ形式で紹介する動画、議員による一般質問の解説動画（1分間）を制作。</p> <p>○意見交換会 各団体のほか、関心向上に向け若者を対象とした意見交換も実施。</p>
主な質疑	<p>Q アクションプランに「議場等における市民意見聴取の場の創出」とあるが、どのようなイメージ、考えの取組か。 A 愛知県犬山市の「市民フリースピーチ制度」がモデルで、市民が議場で提言を述べる場をつくり、議員と意見交換を通じて、議会としての対応を決定していくものである。今後実施方法について議論していく。</p> <p>Q 議会だよりのリニューアルによって、一般質問の要約がなくなり、録画動画の案内に変わったが、市民の反応は。 A 現状批判は届いていない。今は動画広報に重きを置く方向性である。</p> <p>Q 若者との意見交換会を開催するまでの流れはどのようなものか。 A 議員が高校等に申し入れて許可が得られたら、テーマについて相談する。議会からテーマを投げかけることもあれば、学校側から要望されることもある。学生の関心を高めるきっかけになるように実施している。</p>

広報広聴特別委員会行政視察報告書

期 日	令和5年11月15日（水）
視察先	滋賀県 甲賀市
出席者	松本 樹影 委員長、山崎 由枝 副委員長、 小嶋 正博 委員、堀江 克己 委員、望月 真実 委員、高橋 伸也 委員、 田口 孝男 委員、寺岡 まゆみ 委員、石井 芳隆 委員
随行者	清水副主幹
調査項目	モニター会議を通じた議会広報紙づくり及び広聴活動について
調査内容	<p>モニター会議について</p> <p>議会を身近に感じてもらうこと、読みやすい議会だよりへのアドバイスを受けることを目的に、主な読者層ではない高校生、若者（成人式実行委員）、女性を対象にしたモニター会議を平成30年から開始。会議では、情報の取得方法、使用しているSNS、市議会だよりの印象や改善点などについて意見を聞く一方、甲賀市のいいところや生活の中で感じるまちの課題なども聞くなど、まちづくりについての広聴活動としての側面もある。</p> <p>運営に当たっては、広報広聴委員が高校等に依頼、調整を行い、当日の司会や写真撮影も議員自身で担当するほか、グループワークでは委員が各グループに入り、進行役を務めている。</p> <p>議会だよりのリニューアルについて</p> <p>先進事例の行政視察、モニター会議での意見、議会だよりについての「まちかどアンケート」の結果を参考に、令和5年8月1日発行号でリニューアルを実施。編集方針として、分かりやすい言葉で簡潔に伝わる記事、読みやすいレイアウトの紙面、議案だけでなく議論の内容を掲載、すべての編集作業を議員が行うことを掲げている。</p> <p>《リニューアルによる変更点》市民（団体）のインタビューを掲載、インタビューに関連した表紙写真の掲載、余白や写真の使用、文字数の減少、用語解説や難しい漢字にルビをつけるなど</p>
主な質疑	<p>Q 議員が編集しているとのことだが、業者との調整も行っているのか。</p> <p>A 議会だよりの印刷業者との基本的な連絡調整は事務局が行うが、入稿や校正のやり取りは、議員が直接印刷業者と行っている。</p> <p>Q SNSとの連動を課題としているが、どの媒体を考えているか。</p> <p>A 広報戦略をつくり、その中にSNSを位置づけることを考えており、媒体については若い方に見てもらえるものにしたい。ユーチューブは活用したいので、運用について他市の事例を勉強していく。</p> <p>Q 高校とのモニター会議をオンラインで実施する際、一人一人が別々の端末で参加する形か、あるいは集合して1端末で参加する形か。</p> <p>A コロナ禍であったが、生徒も議員もそれぞれ各部屋に集合して参加する方式で行った。ただし、議長が挨拶する際は議長室から個別に参加した。なお、生徒が議場に来て事前学習する際は対面で説明を行った。</p>